



中部電力

電圧電流記録計 (PRM-102C)

逆潮流を把握できるため、 太陽光出力抑制に関する お問い合わせにも的確に 対応できます

背景・目的

- 太陽光発電設備等の再生可能エネルギーが大量に普及されている昨今、お客さまからの太陽光出力抑制や電圧に関するお問い合わせも増加しています。当社ではその対応として、電圧電流記録計 (PRM-102C) を必要箇所に取り付け、電圧・電流を測定することにより、原因把握・事象解決に努めています。

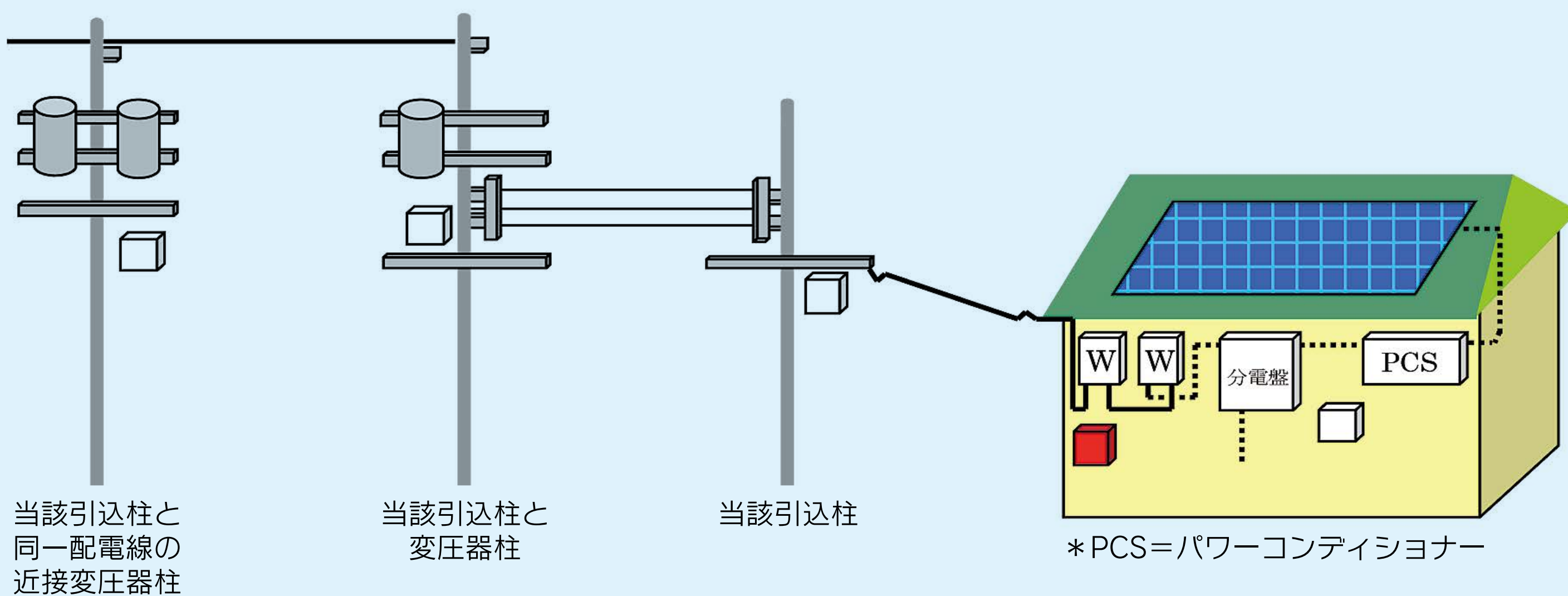
特長

- 逆潮流の把握により記録計の取付箇所数の削減が可能
- 測定精度・サンプリング速度の向上により測定データの信頼性が向上
- 小型・軽量化により計器 BOX 内への収納が可能



用途

- お客さまの受電点に記録計を設置し、電圧・電流を測定 (一週間連続測定：最大4ヶ月可能 (0.5s時))
- 測定した電圧・電流データを確認し、適正な電圧であるか確認
- 適正な電圧でない場合、逆潮流による影響を確認 (原因把握の実施)
- 事象解決に向けた対策をお客さまへ説明 (自動電圧調整装置の整定値変更など)



適用実績例

② PRM-102Cの取付箇所例

- : 取付箇所
- : 太陽光出力抑制申出対応時の一般的な取付箇所

③ PRM-102C解析ソフト 画面イメージ

① 中部電力管内の太陽光発電設備の設置実績

